

製造業

<食料品>

〔味噌製造業〕

主原料の大豆の価格高騰により、収益を圧迫している。商品への価格転嫁もできず、今後が不透明である。

〔漬物製造業〕

デフレにより、販売価格が抑えられているために、利益が徐々に減少している企業が多い。九州北部豪雨水害によって、一部の企業が資金繰りに困っている。

〔牛乳製造業〕

最近の重油・ガスの値上がりや石化製品を使用する包材の高騰は収支を圧迫している。

<木材・木製品>

〔仏壇仏具製造業〕

お彼岸を前に、お手入れ、修理等で若干上昇の動きがあるように思える。

〔木材・木製品製造業〕

8月後半になっても、一部プレカット工場以外、荷動きは低調である。特に増改築、リフォーム、店舗改造が以前より減少している。

<窯業・土石製品>

〔土石製品製造業〕

当該地区の細骨材（海砂・スラグ）需要は、依然として減少傾向が続いている。

<鉄鋼・金属>

〔鋳鉄铸件製造業〕

景況感の悪化が続いている。公共関連に加え、民生分野の需要低迷が強まってきている。円高の影響も続いている。

<電気機械器具>

〔電気機械器具製造業〕

売上高は、昨年同月比80%程度に減少している。今後の回復傾向に期待したいとともに、下期動向を注視したい。

非製造業

<卸売業>

〔機械器具卸売業〕

鉄価の下落等で、組合員の大半が赤字経営を強いられている。この状況が続けば、全員今後の経営状況が厳しさを増すと思われる。

〔電設資材卸売業〕

節電により、エアコンの売上高が減少した。太陽光発電関連は、売上が増加した。

<小売業>

〔食肉小売業〕

猛暑と雨の8月だったが、お盆行事のせい、数ヶ月ぶりに売上は伸びた。しかし、昨年より減少している。

<商店街>

〔福岡市〕

雷雨、暑さ、天候にはどうしようもなく、売上は上がりず、今後、商店街の運営が心配である。

〔北九州市〕

猛暑が続く、高齢者の来街が減少した。

〔田川市〕

お盆前の業況も悪い。盆用品、食材全てにおいて売れない。

<サービス業>

〔警備業〕

全体的に各社受注量が増加した。

〔倉庫業〕

業者間の価格競争で販売価格は低下傾向である。

<建設業>

〔総合工事〕

住宅系の組合員企業においては、総需要減少のため、かなり厳しい状況下となっている。

〔板金〕

新築物件、増改築ともに少なく、増加の傾向は見られない。展望も悪く、改善の兆しはない。

<運輸業>




〔道路貨物運送業〕

前月に引き続き、燃料費は前年並みに落ち着いてきたが、半数以上の組合員で売上が落ち込み、収益がマイナスとなっている。

福岡県の業種別DI値の変化

(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前 年 同 月 比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰	設備操業度	雇用人員	景 況
製造業	食料品	→	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	→
	木材・木製品	↓	→	→	→	→	→	→	→	↓
	印刷	→	→	↘	↘	→	→	→	→	↘
	窯業・土石製品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↓	→	↓	↓	↓	→	↓	→	↓
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
非製造業	卸売業	↓	↓	↓	→	↓	→	—	→	↓
	小売業	↓	→	↓	→	↘	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	↓	→	—	→	↘
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	→	→	—	→	→
D・I		-28	-6	-25	-17	-39	-15	-16	-7	-41

	増加・上昇・好転		不変		減少・下落・悪化
---	----------	---	----	---	----------

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

- 「販売価格」DI値は、前年同月比12ポイント低下している。
- 「資金繰り」DI値は、前年同月から15ポイント上昇と、改善傾向にある。

全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>